

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2003-275671(P2003-275671A)

【公開日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2002-77661(P2002-77661)

【国際特許分類第7版】

B 0 5 D 3/06

B 0 5 D 7/24

C 0 9 D 5/00

C 0 9 D 183/16

【F I】

B 0 5 D 3/06 1 0 2 B

B 0 5 D 7/24 3 0 1 T

B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 183/16

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月9日(2005.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリシラザンおよび光重合開始剤を必須成分とする組成物(X)を用いて塗膜を形成した後に、該塗膜に活性エネルギー線を照射してポリシラザンを硬化する方法において、活性エネルギー線の照射から硬化が完了するまでの少なくとも一部、前記塗膜がカバー材で覆われていることによりポリシラザンの硬化を促進せしめることを特徴とする、ポリシラザンの硬化方法。

【請求項2】

活性エネルギー線の照射前からカバー材で覆う請求項1記載のポリシラザンの硬化方法。

【請求項3】

活性エネルギー線の照射後にカバー材で覆う請求項1記載のポリシラザンの硬化方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前述の課題を解決すべくなされたものであり、ポリシラザンおよび光重合開始剤を必須成分とする組成物(X)を用いて塗膜を形成した後に、該塗膜に活性エネルギー線を照射してポリシラザンを硬化する方法において、活性エネルギー線の照射から硬化が完了するまでの少なくとも一部、前記塗膜がカバー材で覆われていることによりポリシラザンの硬化を促進せしめることを特徴とする、ポリシラザンの硬化方法を提供する。